

会員の趣味、特技 トピックス

蜂取り物語 村瀬五郎

虫取りタモを買ってきた。久しぶりに童心に返り、夢中にさせてくれたのは“大スズメバチ”

暑い日が続く、ここ岩戸森林公園にもスズメバチが飛び交った。春と秋、甘い樹液を求めて大樹に通い始める。一心不乱に吸っている蜂のお尻をタモで優しく揺らす。こちらに頭を向け、蜂の目が合う緊張のひと時、僅か数秒の触れ合い、これがたまたまなく快感である。飛び立つ一瞬を狙って、素早くタモで掬い取る。まるで川で魚を釣り上げて手繰り寄せると同じ、“やめられない”

生きたままの蜂をピンセットで摘み、35度の焼酎に漬け込む、約2か月間で200匹以上！園内を散歩する人たちの安全を守るため“駆除も兼ねて？”命懸け、97%の確率で取る。蜂の焼酎は、半年くらい後から毎日少しずつ飲めば、滋養強壮に効果があるらしいが定かでない。

蜂の命を、人間の生きるエネルギーに換えることができたら幸せ、“蜂に合掌”



当面のスケジュール

1/17	火	月例会、新年会
1/21	土	ハートフルフェスタ2017
1/13 1/20	金	第三者評価事業分析作業
1/27	金	運営委員会 機関紙編集委員会

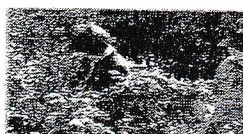
ボランティア活動（12月分）

時間預託活動

	提供活動	コーディネート	事務所当番	その他	当月計	年度計
時間数	55	3	27	5	90	703
人数	14	1	12	1		

奉仕活動

	福祉活動	子育て	ナルク活動	その他	当月計	年度計
時間数	30	0	267	0	297	1836
人数	9	0	17	0		



今が人生の楽園

佐藤隆洋

「人生の楽園」というテレビ番組があります。内容は、第一線をリタイアしたサラリーマンが、趣味を生かした暮らしとか経験のない農業に挑戦するなど、苦労しながらも周囲に溶け込む様子が取り上げられています。ここで羨ましいと思うのは、主人公の周りに、年齢も上下関係もない自然の仲間ができてきているということです。

このことを自分に当てはめてみました。70才で仕事を離れた時、私が先ず思ったのは、“好きなことに時間をかける”“ボランティアもしてみたい”ということでした。

ナルク活動に加わって感じたのは、活動している仲間が素晴らしいことと横の繋がりもあり、損得に拘らない本当のボランティア活動だと思って見えています。

趣味の範囲が広まり、仲間が増えています。行事のスケジュール調整も楽しみとなっています。元気で多くの仲間と付き合えるということは、今が、自分にとっての「人生の楽園」だと思っています。

ビバ老春！ 最後一言、「認知は近寄るな！」

サークル活動

ナルク農園便り

12月20日 農園作業、4名参加、12月とは思えない暖かい日でした。休憩なしでみっちり作業、ほうれん草、ヤーコンなど収穫。

今年初めて作った干し柿、皆さんに好評でした。手間暇かけた干し柿、美味しいのは当たり前。お疲れさまでした。

ウォーキング

12月3日 小牧ウォーキング、7名参加、雲一つない青空の下、ウォーキング。メインは小牧山、歩き疲れたころ小牧城に到着。

天守より四方を眺める、名古屋駅前ビル、御嶽山、西方に岐阜城、思ったより近くに見え、しばし信長の時代に想いを馳せました。